

ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて ～ESG債の購入～




株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、ESG債を購入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みの一環として、サステナビリティボンドなどのESG債への投資を積極的に推進しております。

今後も、金融商品・サービスの提供を通じて、環境保全活動をはじめ、社会貢献活動に積極的に取り組む企業やお客さまを支援してまいります。

記

○ 購入したESG債（※）の概要

発行体	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
種類	サステナビリティボンド
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2021年2月25日
資金使途	環境負荷の低減や交通インフラの整備等
関連するSDGs	    

※各ESG債は、国際資本市場協会が定める原則等に則って発行された債券であり、環境面・社会面において、持続可能な経済成長の実現に向け支援することを目的としております。

○ ESG債 投資累計件数

グリーンボンド	23件
サステナビリティボンド	7件
ソーシャルボンド	12件
サステナビリティ・リンク・ボンド	1件
合計	43件

※現中計(2018年4月以降)の実績

SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。

以上

